



みんなの白山－白山国立公園での外来種対策の取り組み

白山国立公園は富山、石川、福井、岐阜の4県にまたがり、高山植物の宝庫として知られています。「ハクサン」を名前に持つ植物はハクサンコザクラやハクサンチドリなど18種を数え、山の名前を持つ植物の種数は日本一を誇ります。

しかし、近年、オオバコやスズメノカタビラなどの低地性の植物が登山道や山小屋周辺に侵入し、オオバコ科の唯一の高山植物であるハクサンオオバコとの交雑が懸念されるなど生態系攪乱が問題となっています。これらの植物は主に登山者や工事関係者の靴に付着して侵入したと考えられています。

白山国立公園ではオオバコなどの低地性の植物を「外来植物」と位置づけ、昨年までに環境省・石川県・環白山保護利用管理協会・大阪府立大学が協働し、分布調査、



外来植物除去作業に参加したボランティアの皆さん

白山自然保護官事務所 菅野 康祐

侵入経路調査、靴裏の種子を落とすマットの効果の実証調査、除去マニュアルの作成、講習会、ボランティアによる除去活動などの対策事業を行ってきました。

とりわけ今年は地元の団体や企業など多くの方々から、除去活動を行いたい・参加したい、マットを地元の登山口にも設置したい、協賛をしたいとの申出があるなど、対策事業への関心が広がりを見せており、環白山保護利用管理協会が中心となってその取りまとめを行っています。



靴底に付着した種子を除去するためのマットの設置

国立公園の管理が、行政主導から地元の団体や企業など多くの主体が参加する新しい管理のあり方へ変わっていく一例となりそうです。「白山はみんなの山、だから、みんなで大切を守る」、こんな意識が芽生えてきたのだと思うとうれしくなります。

Focus

開催
しました!

ちゅうぶ エコライフ・フェア2008

中部地方環境事務所は、6月が環境月間であることにちなみ、6月14日(土)・15日(日)に、名古屋市のオアシス21で、地球温暖化対策、循環型社会の形成、生物多様性の保全など様々な環境保全活動への理解を深めるため、市民や企業、行政等の多様な主体が環境保全の取り組みを展示するイベント「ちゅうぶエコライフ・フェア2008」を開催しました(表紙にも写真)。

会場では、生物多様性や地球温暖化などについて



分かりやすく説明したパネル展示のほか、葉っぱでのしおりづくりなど体験を行うコーナーやふるしき包み方教室などがあり、訪れた方々は環境保全の取り組みを熱心にご覧になっていました。

「平成の名水百選」が選定されました。

環境省では、全国に存在する清澄な水を再発見するとともに、これを広く国民に紹介することを目的として昭和60年に「名水百選」を選定しましたが、環境問題が主要議題の一つとして開催された7月の北海道洞爺湖サミットにちなみ、水環境保全の一層の推進を図ることを目的に、現在の「名水百選」に加え、新たな名水、「平成の名水百選」を選定しました。

中部地方の7県では、次の22か所が「平成の名水百選」として選定されました。ぜひ、足をお運びください。

富山県 いたち川の水辺と清水(富山市) 弓の清水(高岡市) 行田の沢清水(滑川市) 不動滝の霊水(南砺市)	長野県 まつもと城下町湧水群(松本市) 観音霊水(飯田市) 木曾川源流の里水木沢(木曾郡木祖村) 龍興寺清水(下高井郡木島平村)
石川県 藤瀬の水(七尾市) 桜生水(小松市) 白山美川伏流水群(白山市) 還水観音霊水(能美市)	岐阜県 達目洞(逆川上流)(岐阜市) 加賀野八幡神社井戸(大垣市) 和良川(郡上市) 馬瀬川上流(下呂市)
福井県 雲城水(小浜市) 本願清水(大野市) 熊川宿前川(三方上中郡若狭町)	愛知県 鳥川ホテルの里湧水群(岡崎市) 八曾滝(犬山市)
	三重県 赤目四十八滝(名張市)